

施工説明書 C-21

機能門柱

施工店用
(保管用)

施工店様へ




- 安全上のご注意は、施工前に必ずお読みください。
- 必ずこの施工説明書に従って正しく施工してください。
- 引き渡しの際は、取扱説明書に従って取扱方法を施主様にご説明いただき、取扱説明書は必ず施主様にお渡しください。

安全上のご注意 ※必ずお守りください。



お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◎誤った取り扱いをした場合に生じる危険や損害度を、次の区分で説明しています。



◎本文中や本体に使われている図記号の意味は以下の通りです。

 警告 「死亡や重傷を負う恐れがある」内容です。	 禁止 「絶対してはいけない」内容です。
 注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある」内容です。	 指示を守る 「実行しなければならない」内容です。

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ 分解・改造・用途以外の使用は絶対にしないでください。ケガ・事故の原因となります。 ■ 次のような場所には取り付けしないでください。ケガ・事故・商品破損・感電の原因となります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 傾斜した場所 ・ 施工強度が確保できない場所 ・ 浴室等の常時湿気のこもる場所 ・ 冠水する恐れのある場所 ・ 通行の妨げとなる場所 ・ 極端に高い場所 ・ 強い振動や衝撃等のある不安定な場所 ・ 火気の近くや高温になる場所 ■ 火気を近づけないでください。ケガ・事故・火災・故障の原因となります。 ■ 隙間や可動部分に手や指等を挟んでケガをしないようご注意ください。
 指示を守る	<ul style="list-style-type: none"> ■ 取付工事は危険を伴う場合がありますので、必ず施工業者等のプロによる施工をお願いします。また、2人以上で作業を行なうようにしてください。 ■ 地下埋設物（給排水管など）に影響が出ないように、取付環境をご確認の上、施工してください。 ■ 商品の施工は、施工説明書に従い行ってください。取り付けに不備があると、ケガ・落下・破損の原因となります。 ■ 配線作業は、必ず電源を切ってから行ってください。感電の原因となります。 ■ 異常を感じた場合は、すみやかに使用を中止し、販売店にご相談ください。 (例) ・ 部品の破損がある ・ 異音がする ・ 腐食などによる機能、性能の低下

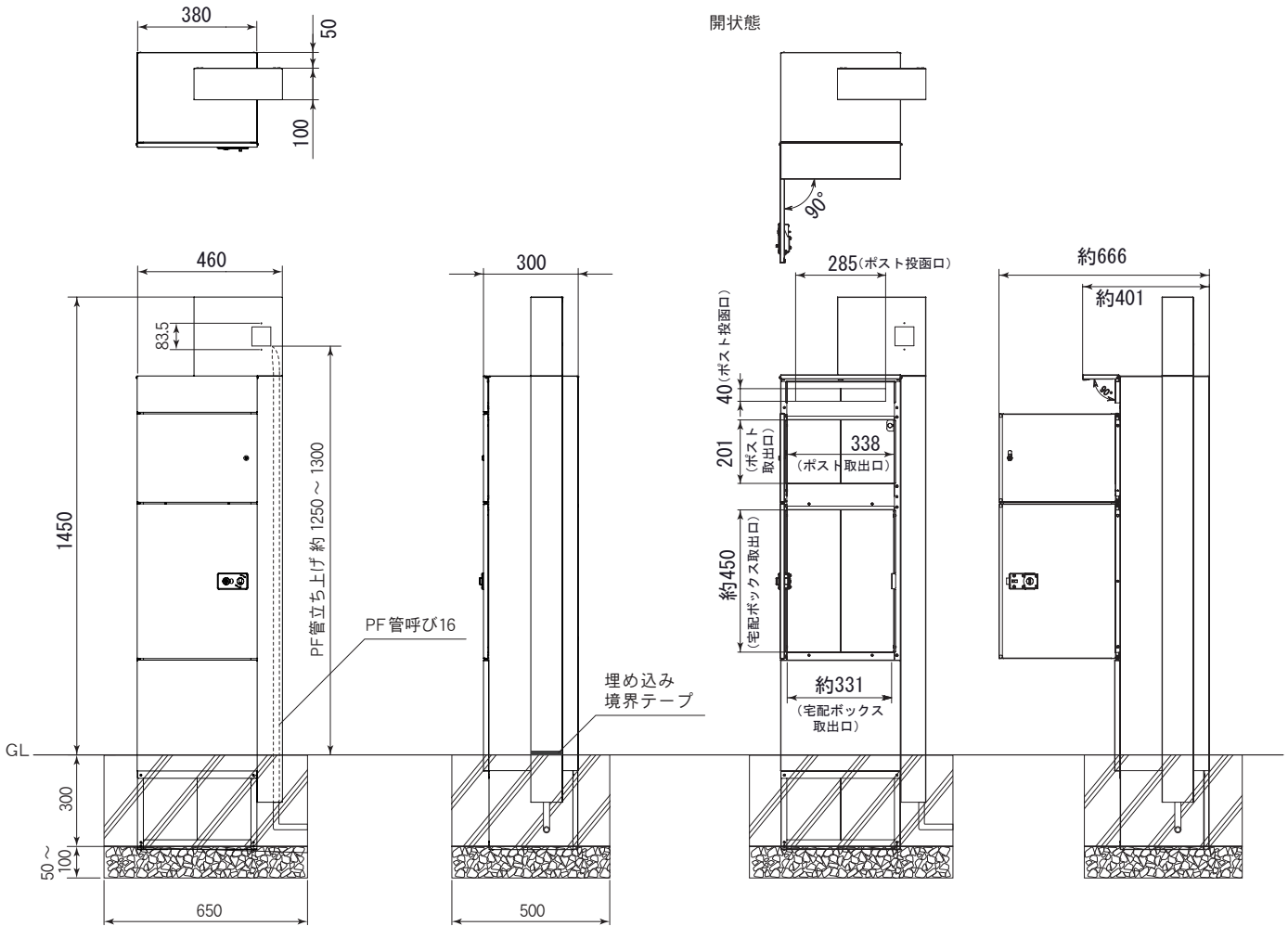
注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ 商品に寄り掛かったり、ぶら下がったり、過度の荷重をかけないでください。ケガ・事故の原因となります。 ■ 商品に傷をつけないようご注意ください。お客様が施工中に破損された場合は、商品の取り替え等の措置は出来かねますので、ご了承ください。
 指示を守る	<ul style="list-style-type: none"> ■ 運搬する際は、商品を引かずらないようにしてください。床にキズがつく場合がございます。また、他の物と商品がぶつからないよう、充分注意して運搬・取り付けを行なってください。 ■ 基礎穴および埋め込み深さは基準通りに設けてください。 ■ 雨水の溜まりを防ぐため、基礎碎石を敷いてください。 ■ 必ず商品の可動範囲内に他商品や突起物が無いよう、取付環境をご確認の上、施工してください。

製品寸法

※図は左開き仕様になります。

※インターホン取付穴加工無しの場合、インターホン取付穴は開いていません。



施工方法 ※ご確認ください。

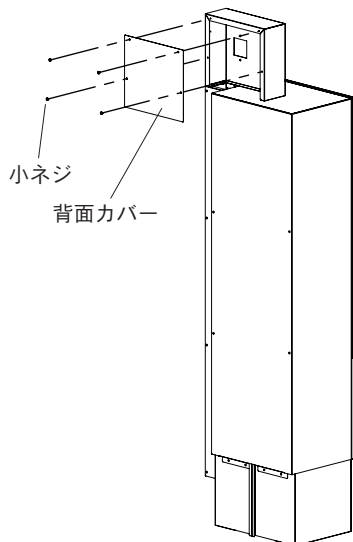
※インターホン取付穴無し仕様の場合は **2** をご覧ください。

! 配管（配線）は商品を施工する前に行なってください。

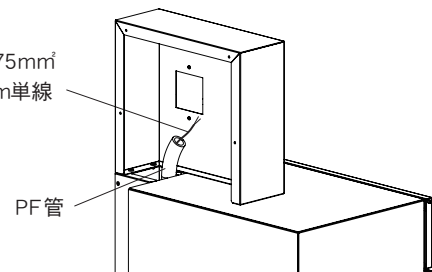
1 【インターホン取付穴加工有りの場合のみ】

インターホン子機取付穴背面の背面カバーの小ネジを取り外します。

付属のPF管を正面向かって右側のパイプスペース内に通し、PF管内に信号線を通します。



信号線VCTF0.75mm²
またはφ1.0mm単線
2芯または3芯

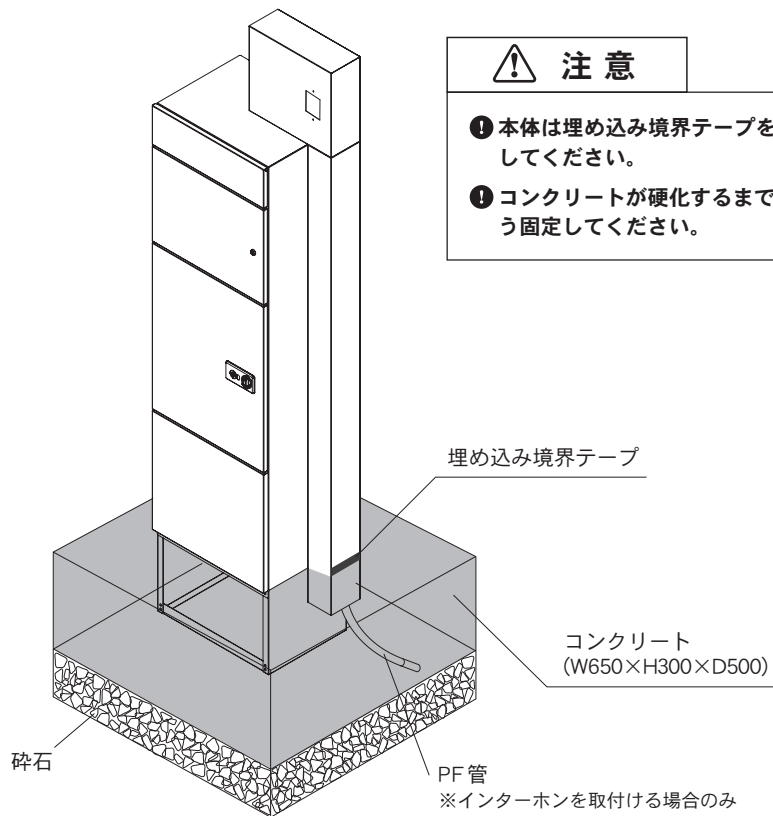


⚠ 注意

- ❶ 背面カバーを取り外す際は、小ネジを無くさないようご注意ください。
- ❷ PF管はパイプスペース内に通してください。
- ❸ PF管と信号線を通した後は、支柱内に引き込まれないようどちらもテープなどで固定してください。
- ❹ PF管の中に水が入らないよう、必ず止水処理を行ってください。

2

基礎穴を掘り、支柱内の水溜まり防止の為、必ず碎石を深さ 50~100mm 程度敷きます。
 本体を埋め込む穴に設置し、埋め込み境界テープ下部まで埋めます。
 水準器などで水平・垂直を確認し、コンクリートを打設します。

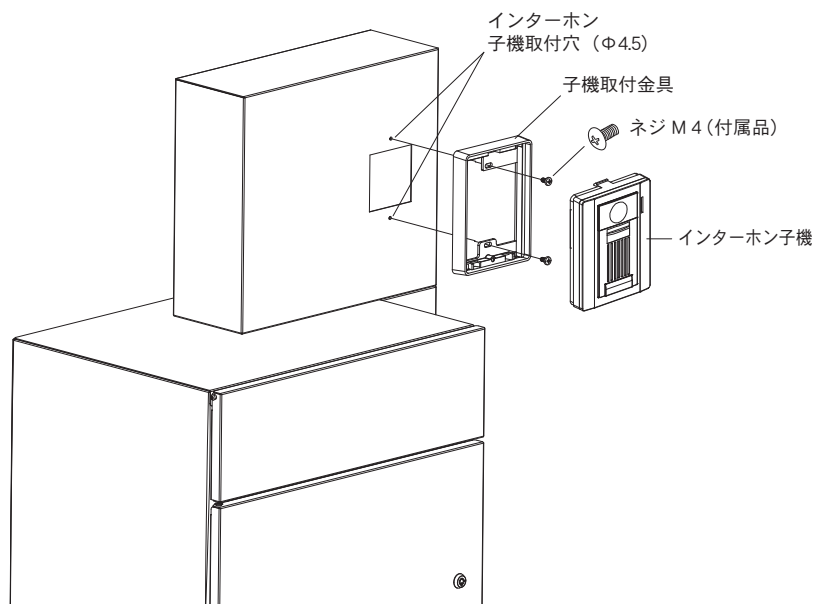
**⚠ 注意**

- ❶ 本体は埋め込み境界テープを埋め込まないよう施工してください。
- ❷ コンクリートが硬化するまでは、商品が倒れないよう固定してください。

※図は左開きインターホン取付穴加工有り仕様になります。

3**【インターホン取付穴加工有りの場合のみ】**

- ① インターホン子機取付穴の位置に、本商品に付属のネジ (M4) で子機取付金具及びインターホン子機を取り付け、配線を完了します。
- ② 施工方法 ❶ で取り外しておいた小ネジでインターホン子機取付穴背面の背面カバーを取り付けます。

**⚠ 注意**

- ❶ インターホン子機は付属していませんので、現地にて手配してください。
- ❷ 取付作業の際は、ブレーカーを落として作業を行ってください。通電状態で行なうと感電・破損の原因になります。

シール貼付方法 (POSTシール、ネームオプション)

付属品に同梱している POST シールはポスト投函扉に貼るシールです。
ポスト投函扉の位置を分かりやすくする為のものなので、必要に応じてご使用ください。
※ご使用になる際は、無くさないようご注意ください。

用意するもの

- ・ スキージー、ヘラ等
- ・ マスキングテープ等

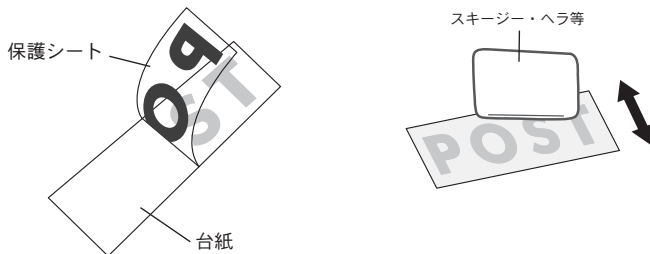
シール貼り付け手順

【下準備】

シールの貼付位置を決め、貼り付け位置表面の汚れをきれいに拭き取ります。

※汚れが残っている場合、剥がれの原因となります。

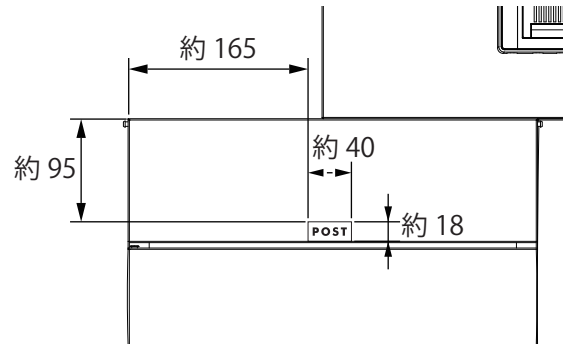
- ① 保護シート側にシールが移るよう、スキージー・ヘラ等でこすりつけてください。こすりつけが不十分だと、剥がす際に台紙側にシールが残り、破れる恐れがあります。



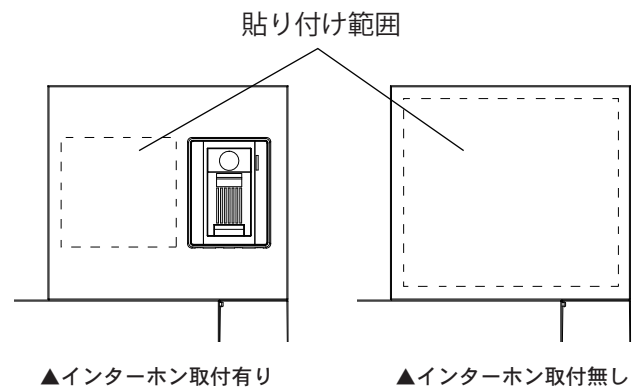
【シールの貼り付け】

- ① 貼り付けたい位置にマスキングテープ等で固定します。
※推奨の貼り付け位置・範囲は図 1、図 2 をご参照ください。
- ② 台紙側にシールが残っていない事を確認しながらゆっくりと台紙を剥がします。
- ③ 保護シートについているシールをポストの表面にしっかりこすりつけ、ゆっくりと保護シートを剥がします。
- ④ 最後に、先に剥がした台紙をかぶせてスキージー・ヘラ等でこすってしっかりと圧着させます。

【図 1】 POST シールの推奨貼り付け位置



【図 2】 ネームオプションの推奨貼り付け範囲



施工後の確認

- 取付完了後、商品が確実に固定されていることをご確認ください。
- 各部のネジのゆるみ・ガタツキ等がないかご確認ください。
- 投函扉、取出扉の開閉をご確認ください。
- 梱包時にポスト本体内にテープでスノコを固定して発送しています。施工完了後はテープを取り除いてください。
※宅配ボックス付きの場合も、宅配ボックス本体内部にスノコがございます。同じくテープを取り除いてください。
- 施工完了後は施工時の汚れをきれいに取り除いてください。
- 誤った使用を避けるため、施工完了後は必ず取扱説明書を施主様にお渡しして、取扱注意・メンテナンスについて説明してください。

商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

<日本製>